

エンジンヘッジトリマ

EHT-23D

取扱説明書

このたびは、弊社「エンジンヘッジトリマ EHT-23D」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・ 1～4

仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～9

作業方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

保守と点検・・・・・・・・・・・・・・ 11～14

【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

●表示と意味

	警告 使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。
--	---

	注意 使用を間違った場合に人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。
--	--

- ※  注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。

図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

 警告	
・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。	
・疲れている時や体調の悪い時、酔っぱらっている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。	
・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め点検、または修理を依頼してください。	
・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。	
・燃料は注入口の口元一杯まで入れず、8分目程度にしてください。運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。	
・燃料は必ず潤滑油混合ガソリン25：1(無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル)を補給してください。軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。	
・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	

⚠ 警告	
・ 運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。	
・ 機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。	
・ 使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。	
・ 運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。	
・ エンジンは作業機に搭載した状態で使用するようには作られていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。	
・ 運転操作のわからない人、指導を受けていない人、お子様には絶対操作させないでください。	
・ 本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また、改造は絶対にお止めください。	
・ 燃料は非常に引火性が高く、気化した燃料は爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。	
・ 整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。	
・ 本機の周りに、石油、シンナー、火薬等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。	
・ 作業を行う場合は、15m以内に人を近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も15m以上離れてください。飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因となります。	
・ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。	
・ 誤って本体を落したり、ぶつかったりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。	
・ 点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。	
・ 輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。	
・ 可燃性・揮発性の液体やガス、または紙や枯れ草等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。	
・ 本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)事を確認してください。また、本体が動かないようにしっかり固定してください。火災や事故の原因となります。	

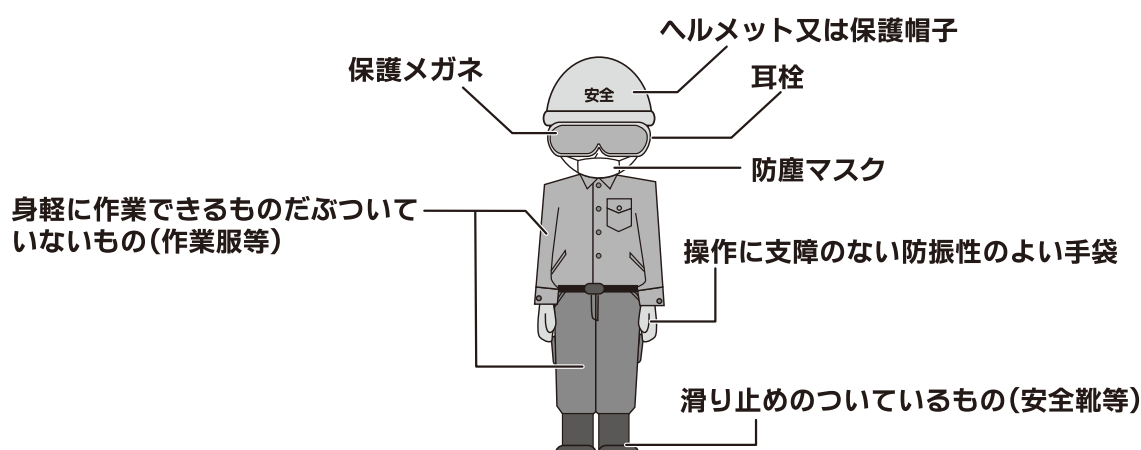
⚠ 警告	
・ 本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。	!
・ 作業以外で本機を移動する際は、必ずエンジンを停止させてから移動させてください。	!
・ 本機をお子様に操作させたり、乗せたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。	!
・ 使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。	!
・ ブレードやハンドガードが確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから作業をしてください。異常があるまま使用すると、けがの原因になります。	⊘
・ 運転中は、絶対にブレードに触れないでください。また、髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。	⊘
・ 作業中、ブレードに針金やつる、つたなどが巻き付いてしまった場合は、必ずエンジンを停止させ、ブレードが完全に停止してから取り除いてください。	!
・ 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。	!
・ リコイルスターターを引いてエンジンをかける時、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。	!
・ 持ち運びの際は、ブレードにブレードカバーを装着してください。	⊘
・ 作業を始める前に現場の状況（地形、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。	⊘
・ 作業中はフロントハンドルとリアハンドルをしっかり保持し、両足を開き安定した姿勢で行ってください。足場の悪い場所で作業する際は、周囲を整備し足場を確保してください。	⊘
・ 作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。	⊘
・ 低位置の作業をするときは、自分の足元に十分注意してゆっくりと作業をしてください。自分の足を傷つけるなど、けがの原因になります。	!
・ 作業中は、ブレード部を自分の体の方に向けるような操作は絶対にしないでください。	!
・ 作業中、石など硬いものが当たったときは、すぐにエンジンを停止させ、ブレードに異常がないか確認をしてください。	!

⚠ 注意	
・本機は空冷2サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は25：1（無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル）を使用してください。ガソリンのみでエンジンをかけたり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。	⚠
・燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。	⚠
・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。	⚠
・リコイルスターターや冷却フィンの周りについたゴミは取り除くようにしてください。また、定期的にエアフィルターの清掃を行ってください。	⚠
・修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客さま相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。	⚠
・本機を使用しない場合は、燃料を抜き、お子様の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。	⚠
・刈り込み作業以外にブレードを動かしたり、水中または根の這った岩垣、ブロック塀、つたやつるの多い場所には使用しないでください。	⚠
・本機はお子様の手が届かない所に保管してください。温度が40℃以上に上がる可能性がある場所（車内等）、湿度が高い所、雨のかかる所には保管しないでください。	⚠
・ブレードの刃先は非常に鋭利なため、不用意に触れるとけがをする危険があります。ブレードの点検やお手入れをする際は、革製の丈夫な手袋を着用して慎重に行ってください。	⚠
・1日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用を避け、30分作業したら5分以上休憩してください。	⚠

○騒音防止規制

- ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。



上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。

【仕様】

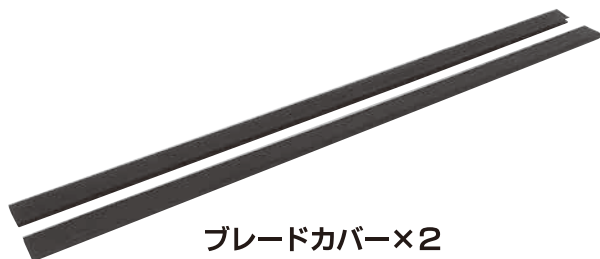
エンジン形式	空冷2サイクルガソリンエンジン
使用燃料	潤滑油混合ガソリン 無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル 25：1
排気量	22.5mL
出力	0.65kW（0.86PS）
燃料タンク容量	600mL
始動方式	リコイルスターター
点火プラグ	NGK BPMR7A
ブレード全長	600mm
刈幅	540mm
能力（刈込みができる枝の太さ）	5mm
騒音値	約90dB
本体寸法	W1060mm×D235mm×H230mm
質量	約5.5kg

※刈込みができる枝の太さは、刈込む枝や樹木の種類、刃物の切れ味によって変わることがあります。

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

【付属品】

※大きさは実寸比と異なります。



ブレードカバー×2



T型レンチ×1

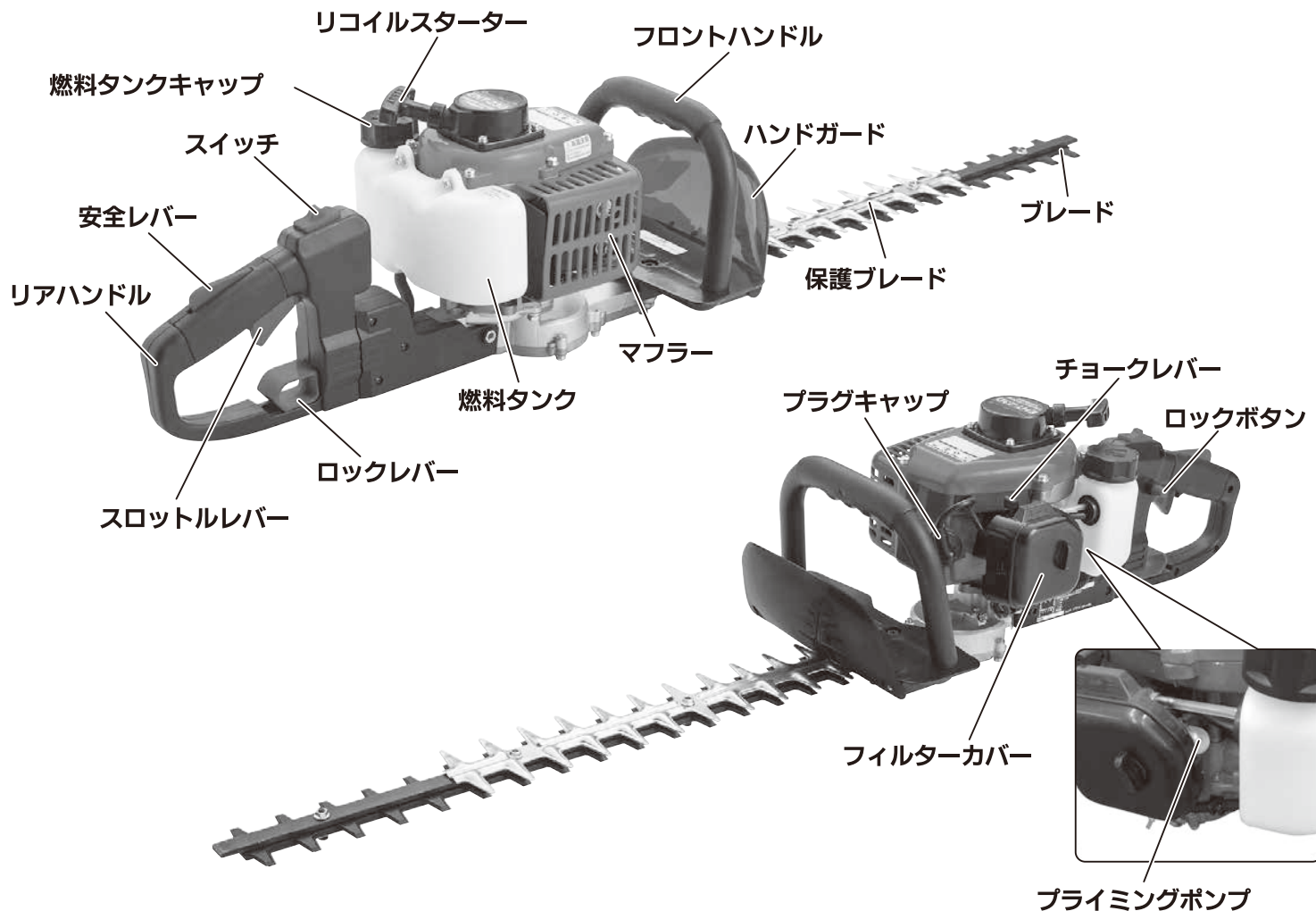


スパナ（8×10mm）×1



混合ガソリン容器×1

【各部名称】



【使用方法】

●燃料の準備・給油

⚠ 警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・燃料の混合・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
- ・本機は空冷2サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は25：1（無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル）を使用してください。ガソリンのみで使用したり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

⚠ 注意

- ・燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。古い燃料を使用すると、運転が不調になる原因となります。
- ・作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
- ・燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、八分目位までとしてください。

①燃料タンクキャップを回して外し、混合ガソリンを給油します。

②給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。

※口元一杯まで入れないで、8分目程度にしてください。

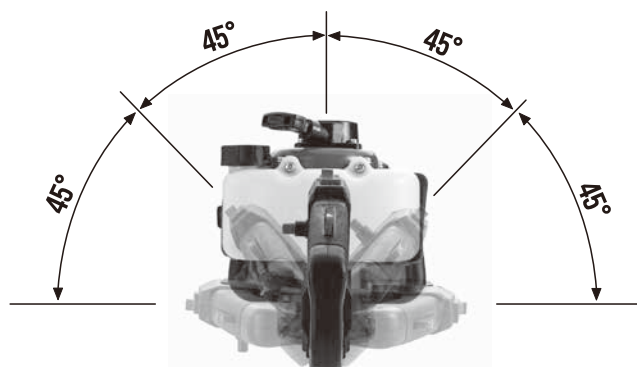
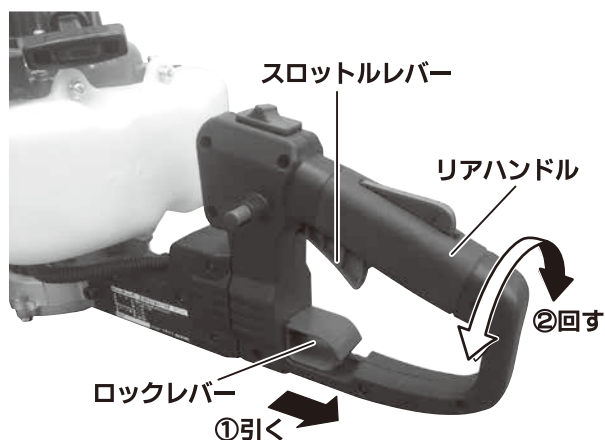
◇無鉛ガソリンと2サイクルエンジン専用オイルとの混合比

無鉛ガソリン(L)	2サイクルエンジン専用オイル(m l)
0.5	20
1	40
2	80

●リアハンドルの角度調整

⚠ 警告

- ・スロットルレバーの操作中にロックレバーの解除をしないでください。
- ・ロックレバーのロックを解除し、リアハンドルを回転させているときはスロットルレバーを操作しないでください。



作業状態に応じてリアハンドルを5箇所(45° ずつ)固定させることができます。

- ①ロックレバーを引き、リアハンドルの固定を解除します。
- ②リアハンドルを回します。
- ③固定させたい位置でリアハンドルを固定させてください。(カチッと音がしてロックレバーが固定されます。)

●エンジンの始動

エンジンが冷えている場合

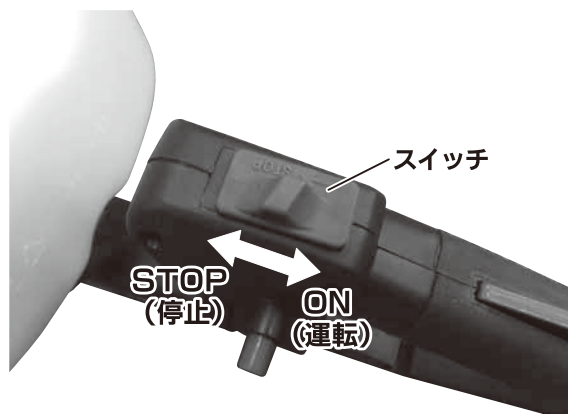
⚠ 警告

- ・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
- ・疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
- ・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
- ・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のコもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- ・燃料の混合、および給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

⚠ 注意

- ・ブレードが地面、または障害物などに接触していないことを確認してから始動してください。

- ①スイッチを「ON」の位置にしてください。



②燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※約10回程度押せば燃料が上がってきます。

③チョークレバーを|↗|閉(始動)の位置にしてください。

④安全レバーを押しながらスロットルレバーを引いてロックボタンを押します。そのままスロットルレバーを放すと、スロットルレバーが始動位置にロックされます。
※スロットルレバーを引いて放すとロックが解除されます。

⑤本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認してから、本体が動かないようにしっかり押さえリコイルスターターをゆっくりと引きます。

⑥リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、それを最初の初爆音がするまで繰り返し行います。

初爆してすぐに止まってしまった場合、⑦→⑨の手順へ

エンジンが始動した場合、⑧→⑨の手順へ

※リコイルスターターはロープ引き出し口の方向になって真っ直ぐ引いてください。

※ロープはいっぱい引ききらないでください。

※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。

⚠ 注意

- ・チョークレバーを|↗|閉(始動)の位置にしたまま、何十回も繰り返しリコイルスターターを引き続けると燃料を吸い込みすぎてエンジンがかかりにくくなります。燃料を吸い込みすぎた時は、点火プラグを外し、電極を完全に乾かしてから元通り取り付けて始動操作をやり直してください。

⑦チョークレバーを|↕|開(運転)の位置にして、再度リコイルスターターを引いて、エンジンを始動させてください。

⑧|↕|開(運転)の位置に戻し、安全レバーを押しながらスロットルレバーを引き、ロックを解除してアイドリングの位置に戻してください。

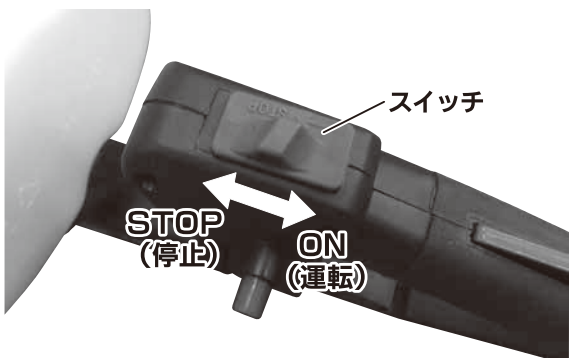
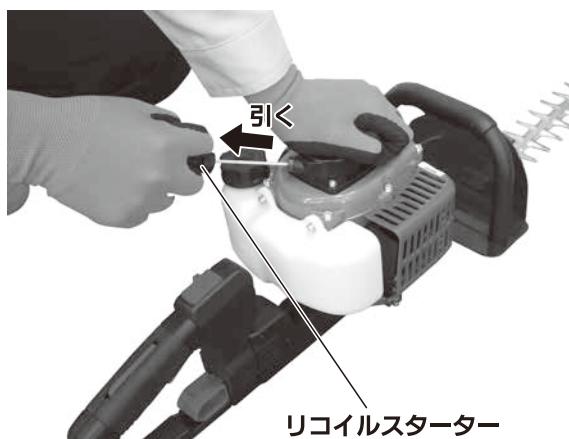
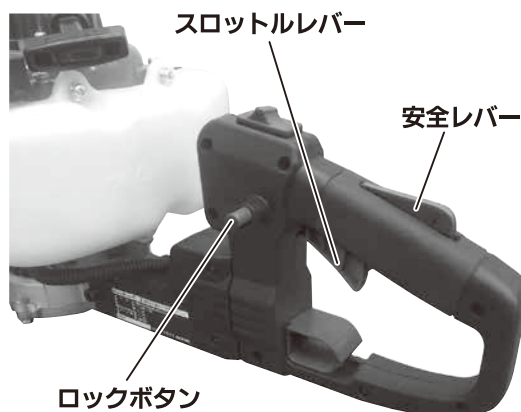
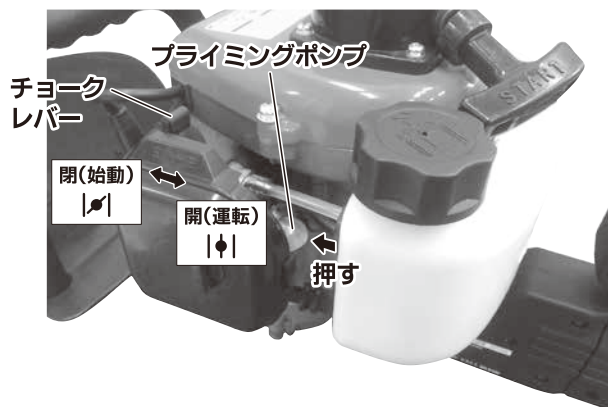
⚠ 注意

- ・スロットルレバーを戻しても、ブレードが動く場合は、スロットルワイヤーの引っ掛かりを確認してください。
- ・スロットルレバーを握ったまま、エンジンを始動しないでください。エンジンの始動と同時にブレードが動き出し、事故の原因となります。

⑨2～3分低速で暖機運転してから作業を始めてください。

エンジンが暖まっている場合 ※エンジンが暖まっている場合は、チョークレバーを操作する必要はありません。

①スイッチを「ON」の位置にしてください。



②燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。
※約10回程度押せば燃料が上がってきます。

③安全レバーを押しながらスロットルレバーを引いてロックボタンを押します。そのままスロットルレバーを放すと、スロットルレバーが始動位置にロックされます。
※スロットルレバーを引いて放すとロックが解除されます。

④本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認してから、本体が動かないようにしっかり押さえリコイルスターターをゆっくりと引きます。

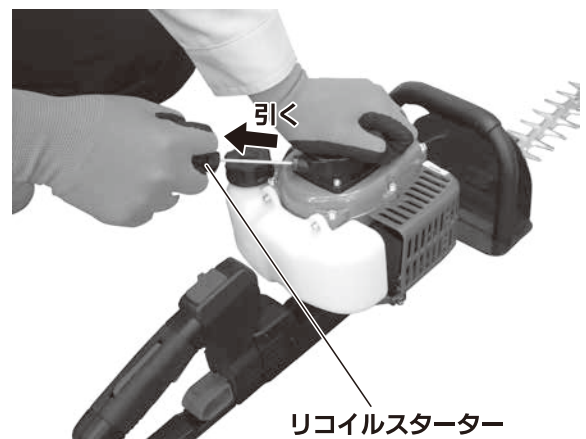
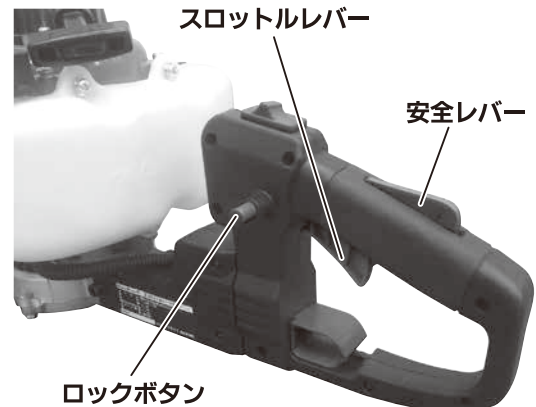
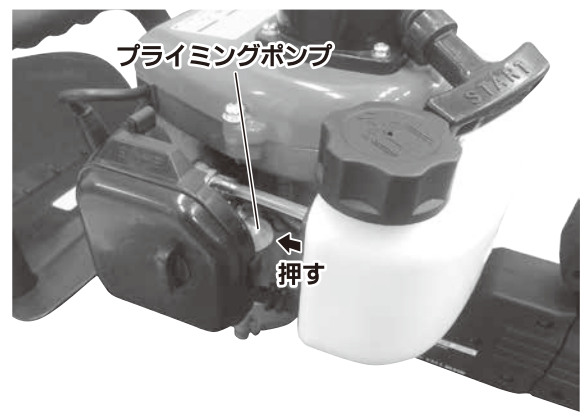
⑤リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、エンジンを始動させます。

※リコイルスターターはロープ引き出し口の方に向かって真っ直ぐ引いてください。

※ロープはいっぱいに引ききらないでください。

※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。

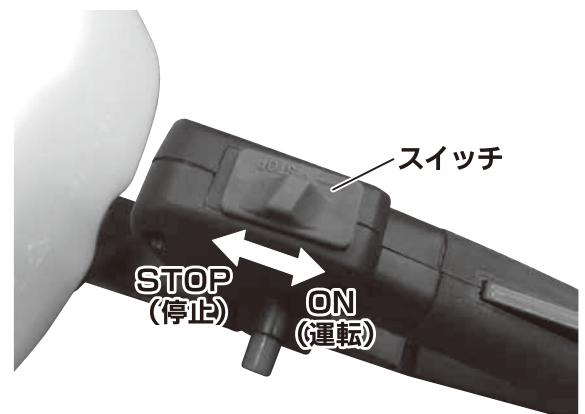
⑥エンジンが始動したら安全レバーを押しながらスロットルレバーを引き、ロックを解除してアイドリングの位置に戻してください。



●エンジンの停止

①エンジンを停止する際は、スロットルレバーを放して、エンジンの回転が低速回転になってから、スイッチをSTOP (停止) の位置にします。

②エンジンが停止します。



【作業方法】

⚠ 警告

- ・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
- ・夜間や天候不良などの視界が悪いとき、雨中、雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・使用中は、ブレードに手や体を近づけないでください。
- ・作業を行う場合は、15m以内に人を近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も15m以上離れてください。
- ・飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
- ・エンジンをかけたまま本機を放置しないでください。

⚠ 注意

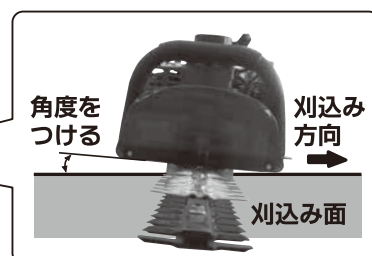
- ・作業をする前に作業場所の整備をしてください。
- ・作業場及び周辺的环境をよく観察し、けがや事故、故障の原因になると予想できる物が作業場所にはないか確認し、ある場合には、あらかじめ取り除いてください。特に、足場の悪い場所で作業する際は、周囲を整備し足場を確保してください。
- ・樹木の中に電線や空き缶、金属片などがいないか確認してください。ある場合には取り除いてから作業してください。
- ・太い枝(5mm以上)は、あらかじめせん定バサミで切っておいてください。能力以上の負荷を加えると、故障の原因になります。
- ・作業中、ブレードに針金やつる、つたなどが巻き付いてしまった場合は、必ずエンジンを停止させ、ブレードが完全に停止してから取り除いてください。
- ・作業中、石など硬いものが当たったときは、すぐにエンジンを停止させ、ブレードに異常がないか確認をしてください。
- ・高い庭木には、しっかりしたはしごや脚立をご用意ください。
- ・芝生や雑草の刈り込みは絶対にしないでください。故障やけがの原因になります。

●上面刈り

- ・両手でハンドルをしっかり持ち、本体を水平に保ちブレードを刈り込む方向に対し、少し傾けて、体を軸に円弧を描くように刈り進めます。
- ・生垣の上面をそろえるには、張り糸を張ってその上に沿って刈り込むときれいに仕上がります。



張り糸



●側面刈り

- ・本体を垂直に保ち、ブレードを体からできるだけ離して下から上に刈り込みます。



【保守と点検】



警告

・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
また、点火プラグからプラグキャップを外してください。

●エアフィルターの清掃

- ・チョークレバーを閉（始動）側に倒し、キャブレターに塵埃などが入るのを防ぎます。
- ・エアフィルターの汚れは定期的を確認してください。汚れている場合には、下記の手順で清掃を行ってください。

①フィルターカバーを固定している固定ネジを外します。

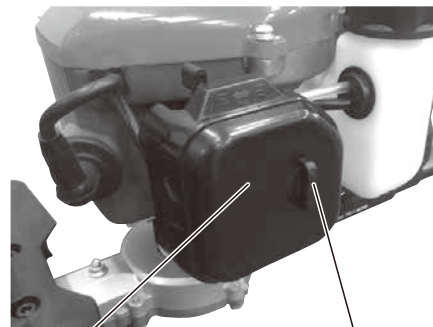
②フィルターカバーを外し、エアフィルターを外します。

③エアフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。
※汚れのひどい場合には灯油等でエアフィルターを洗浄してください。洗浄後、エアフィルターをエンジンオイルにひたし、エンジンオイルを良くしぼってから取り付けてください。エアフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。

※洗浄してもエアフィルターの汚れがひどい場合、またはエアフィルターの弾力が無くなったり傷みがある場合には、新しい物と交換してください。

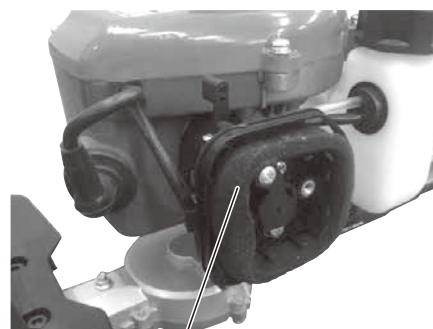
※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターはきれいにしておいてください。

④清掃が終わったら取り外したときと逆の手順で取り付けます。



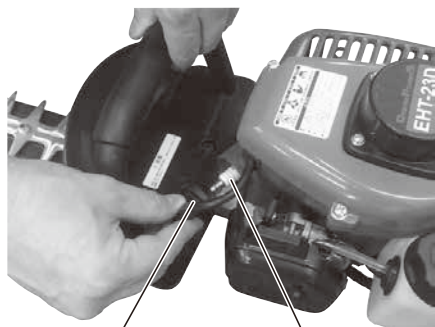
フィルターカバー

固定ネジ



エアフィルター

●点火プラグの清掃

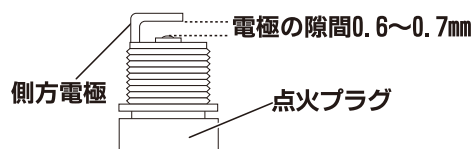


プラグキャップ

点火プラグ



T型レンチ



①プラグキャップを外し、付属のT型レンチで点火プラグを外します。

②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。

※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

標準プラグ

NGK BPMR7A

●燃料フィルターの清掃



警告

- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。また、燃料フィルターを取り出す際もご注意ください。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

- ・燃料フィルターが詰まると、燃料が上がらず、エンジンの回転不調の原因となります。定期的を確認してください。

- ①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜きます。燃料タンクを空にします。燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ります。
- ②針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
- ③燃料フィルターをガソリンでよく洗います。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処理してください。
(汚れのひどいときは交換してください。)
- ④燃料タンク内に燃料フィルターを入れ、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。



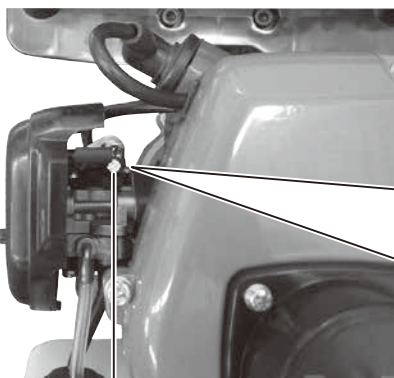
燃料フィルター

●その他

- ・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみが無いかの確認、燃料漏れ・オイル漏れの確認をしてください。
- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いはしないでください。

●キャブレターのアイドリング調整

- ・キャブレターの調整は専門的な知識が必要です。不必要にキャブレターを調整しないでください。
- ・キャブレターは、工場出荷時に燃料が最適に供給されるように調整されていますが、次のような場合にはキャブレターのアイドリング調整をしてください。



アイドリング調整ネジ

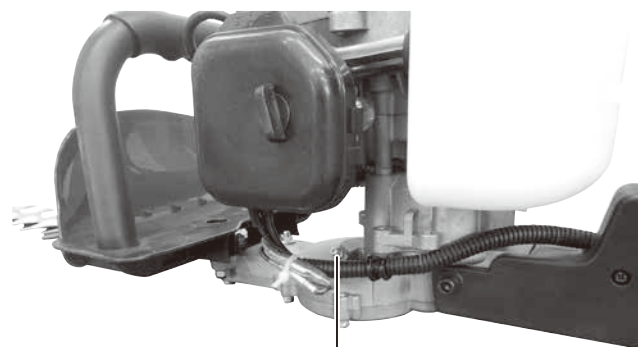


- ・アイドリング（低速運転）の回転数が高すぎる時（スロットルレバーがアイドリング位置でブレードが動いているとき）又は低すぎる時（エンジンが停止するとき）は、アイドリング調整ネジで調整してください。（右回しでアイドリングの回転が高くなり、左回しで低くなります。）

※調整してもエンジンの回転が不調の際は、お買い求めの販売店へご相談ください。

●ギヤケースのグリス注入

- ・本機にはグリス流出防止機構を備えております。ブレード摺動部より若干流出することがありますが故障ではありません。
 - ・ギヤケースには定期的にグリス注入口からグリスガン(市販品)等でグリスを注入してください。
- ※使用するグリスは、リチウムグリスNo. 3と同等の物を使用してください。

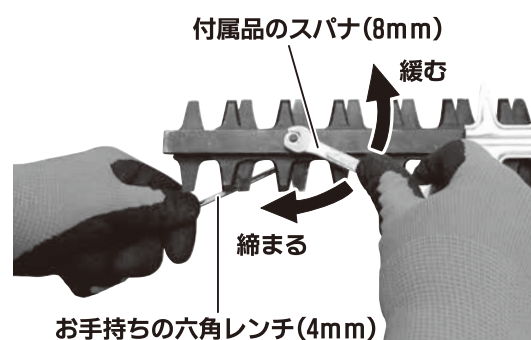
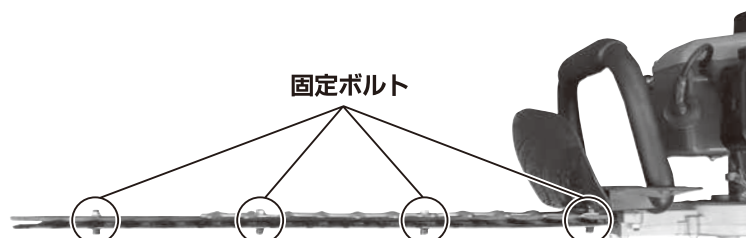


グリス注入口

●ブレードの調整

⚠ 警告

- ・ブレードの刃先は非常に鋭利なため、不用意に触れるとケガをする危険があります。ブレードの調整、点検やお手入れをする際は、革製の丈夫な手袋を着用して慎重に行ってください。



- ・ブレードを固定しているボルトが緩み、ブレードの隙間が広くなり、切れ味が悪くなった場合は4本の固定ボルトを締め込んでください。
- 本製品はブレード隙間調整の必要がありません。固定ボルトを締め込むと、最適な隙間になるように設定されています。

●保管方法

- ・長期間(30日以上)使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
- ※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
- ※燃料を抜く際は、容器(市販品)等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。

- ①燃料タンクキャップを外し、針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
- ②燃料が出なくなるまで、プライミングポンプを押します。
- ③燃料タンクから燃料を抜き、燃料タンクを空にします。
- ④燃料が抜き終わったら、燃料タンク内に燃料フィルターを戻し、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。
- ⑤最後にエンジンが停止するまで運転させてください。
- ⑥点火プラグを外し、プラグの穴から少量の2サイクルエンジンオイルを流し込み、リコイルスターターをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせ、点火プラグをもと通りに取り付けてください。
- ⑦リコイルスターターをゆっくり引き、圧縮のあるところ(重くなったところ)で止めてください。
- ⑧各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。水洗いはしないでください。

※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けてください。

※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

※本機を移動、保管する際は安全のため、必ず付属のブレードカバーを取り付けてください。

※各部を十分に清掃し金属部には、さびないように2サイクル専用オイルなどを薄く塗ってください。

●トラブルの原因と対策

⚠注意

- ・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
- ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない	燃料が無い・古い	新しい燃料を補給する
	スイッチが「STOP(停止)」になっている	スイッチを「ON(運転)」にする
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアーフィルターが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換をする
	オーバーチョーク（燃料の吸い込み過ぎ）	点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	燃料が回っていない	プライミングポンプを押す
エンジンの出力不足 および回転が不安定	燃料フィルターの詰まり	清掃する
	エアーフィルターが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換をする
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良・ストップスイッチのコネクターが外れている	チョークレバーを 閉(始動) の位置にして、エンジンを停止させる お買い求めの販売店に相談する
異常振動	各部の締め付け部のゆるみ	各部を点検し、増し締めをする
	ブレードの変形、損傷	お買い求めの販売店に相談する
	ギヤケースのグリス消耗	ギヤケースにグリスを注入する
	ブレードの取付ボルト・ナットの締め付けが適正でない	ブレードの調整を行う
刈り込みが上手にできない	ブレードの切れ味が悪い	お買い求めの販売店に相談する
	能力以上の枝径を切ろうとし、ブレードの動きが止まる	太い枝は、あらかじめ余裕のある太さまで、せん定バサミで短めに刈り込んでおく (刈込みできる枝の太さ 約5mm)
		太めの枝は直角方向からせん定をする
ブレードの作動が止まらない	アイドリングの回転が高い	アイドリングの調整を行う
	スロットルワイヤーが外れている	確実に取り付けてください
ブレードが作動しない	ブレードに小枝等が引っ掛かっている	異物を取り除いてください
	ブレードの曲がり、摩耗、または破損している	お買い求めの販売店に相談する
	駆動系の異常	お買い求めの販売店に相談する

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。